

NASドライブ・ セレクション・ガイド

マーケティング資料

シーゲイトNASドライブの 製品比較

NASアプリケーションに適したドライブを選択する場合、考慮する重要な要素が3つあります。それはアプリケーションのドライブ数、予測される負荷に対するドライブの信頼性、そして利用可能なセキュリティ機能です。シーゲイトは、家庭向け小規模NASから大規模エンタープライズ・アレイまでのNASに対応したドライブを提供しています：**シーゲイトNAS HDD**、**Constellation® CS HDD**、**Constellation ES.3 HDD**。

アプリケーション	デスクトップ/SOHO向けNAS	中小企業向けNAS	中小企業/監視用NAS
ドライブ・ベイ	1~5	6~8	9+
適したシーゲイト・ドライブ	NAS HDD	Constellation® CS HDD	Constellation ES.3 HDD

NASとデスクトップHDDの違いに関する詳細は、[NASとデスクトップの比較：NASアプリケーション向けHDDの評価 \(MB633\)](#) をご確認ください。

ドライブが振動レベルに対処しながら期待される性能を実現できるようにするため、NASアレイに使用されるドライブ数を把握することが重要です。この測定法は3種類あります。まず、ドライブの振動緩和方法を検討します。デュアル・プレーン・バランスなどの機能が、マルチドライブ環境で増幅し、信頼性を危険にさらす可能性があるドライブの振動を最小限に抑えます。第二に、回転振動 (RV) センサーがシステム振動の影響を最小限に抑えます。振動の増加が検知されると、ドライブ・シャーシに振動が分散されます。そうすることで、乱れが最小限になり、性能と信頼性が向上します。RVセンサーはドライブが5台以上のシステムに対して推奨されます。第三に、上部カバー付き (TCA) モーターが、キャビネットの回転振動と線形振動を改善することにより、エンタープライズ環境における高性能を実現します。

ドライブの負荷も性能および信頼性に影響を及ぼします。たとえば、クラウドや同様のサービスを經由してテレビ番組の録画やデータ中継をすることでデータを常時読み書きするドライブは、パーソナル・コンピュータのドライブとは異なる信頼性指標を有しています。ドライブの使用方法も考慮します。ビデオは録画された後、要求に応じて再生されるため、テレビ番組の録画はドライブにとってより連続的または予測可能な負荷です。ランダム負荷は、eBayのようなオンライン店舗に見られるようなもので、販売商品の掲載や商品の購入、在庫の閲覧といった行動によって、ドライブ上でデータがランダムに読み書きされます。これは予測不可能で、ドライブにより大きな負担がかかります。最後に、ドライブ・インターフェイスが信頼性に影響を及ぼす可能性があります。エンタープライズクラス・ドライブは、SASインターフェイスを提供し、デュアルバス・データ・フローにより、優れたドライブ性能と高い

データ完全性を実現します。目的に合った負荷に合わせてドライブを設計し、測定する際には、こうした環境上の影響すべてが考慮されます。

シーゲイトInstant Secure Erase (ISE) や自己暗号化ドライブ (SED) といったセキュリティ機能が、暗号化要件によってNAS環境のセキュリティとパフォーマンスを強化します。ISEが、ドライブに保存されている暗号化キーを永久的に削除するため、素早く簡単なドライブの廃棄が可能です。SEDドライブはISE機能を活用するため、ユーザは、保存データに対するパスワード保護などさらに一段階上のセキュリティを追加することができます。

お使いのNASアプリケーションに最適なドライブを選択するにあたり、これらすべてを考慮することが重要です。ドライブ数を把握し、目的に合った負荷とセキュリティ・ニーズを理解することで、あらゆるNAS環境に適したドライブを選択することができます。

NASアプリケーション向けシーゲイト・ドライブ

	シーゲイトNAS HDD	シーゲイトConstellation® CS HDD	シーゲイトConstellation ES.3 HDD
理想的な用途	1~5ドライブ・ベイ、常時稼働、小規模企業または家庭向けNAS、バックアップ、メディア、印刷、ウェブ・サーバ	6~8ドライブ・ベイ、常時稼働、中小企業向けNAS、大容量データ・ストレージ、バックアップ・ストレージ、リッチ・メディア・ストレージ	9+ドライブ・ベイ、常時稼働、エンタープライズ向け大容量データ、集中型NAS、バックアップ/復元、ビデオ編集
容量 (TB) ¹	4, 3, 2	3, 2, 1	4, 3, 2, 1
インターフェイス (6Gb/秒)	SATA	SATA	SATA, SAS
性能 (連続データ転送速度 - OD側)	最大140MB/秒	最大160MB/秒	175MB/秒
動作時の消費電力 (W) ²	低消費4.8	低消費6.1	低消費7.6
動作時の静音性 (最大, bel)	2.5	2.5	3.0
振動耐性機能	デュアル・プレーン・バランス	RVセンサー	RVセンサーおよびTCAモーター
Instant Secure Erase (ISE)	非対応	対応	対応
自己暗号化ドライブ (SED)	非対応	非対応	対応
SED FIPS 140-2 ³	非対応	非対応	対応
保証期間 (年数)	3	3	5

¹ ドライブの容量を示す場合、1ギガバイト (GB) は10億バイトに、1テラバイト (TB) は1兆バイトに相当します。

² ドライブの目的に合った環境で動作時の消費電力を測定しています。仕様は同じ環境で対照比較していません。

³ FIPS (連邦情報処理規格) 140-2とは、データ・セキュリティの一定の要件を満たすIT製品に対する米国政府の認証評価基準です。モデルまたは国によって、ご利用いただけない場合があります。一部のモデルは、TCG準拠のホストまたはコントローラが必要となります。

www.seagate.com

南北アメリカ Seagate Technology LLC 10200 South De Anza Boulevard, Cupertino, California 95014, United States, +1 408 658 1000
 アジア/太平洋 Seagate Singapore International Headquarters Pte. Ltd. 7000 Ang Mo Kio Avenue 5, Singapore 569877, +65 6485 3888
 ヨーロッパ、中近東、およびアフリカ Seagate Technology SAS 16-18 rue du Dôme, 92100 Boulogne-Billancourt, France, +33 1 41 86 10 00

© 2013 Seagate Technology LLC. All rights reserved. Printed in USA. Seagate, Seagate Technology, およびWaveのロゴは、米国およびその他の国々におけるSeagate Technology LLCの登録商標です。Constellationは米国またはその他の国々におけるSeagate Technology LLCまたはその関連会社の商標または登録商標です。その他の商標または登録商標は各社の所有物です。ドライブの容量を示す場合、1ギガバイト (GB) は10億バイトに、1テラバイト (TB) は1兆バイトに相当します。コンピュータのオペレーティング・システムでは異なる測定基準が使用されている場合があり、容量が低く表示されることがあります。また、容量の一部はフォーマットやその他の機能に使用されるため、データの保存用には使用できません。実際のデータ転送速度は、動作環境およびその他の要素によって異なる場合があります。暗号化を含むハードウェア/ソフトウェアのエキスポート/再エキスポートには、米国商務省産業安全保障局 (BIS) による規制が適用される場合があります (詳細は、www.bis.doc.govを参照してください)、また米国外への輸出または米国外での使用は規制される場合があります。製品内容または仕様は、予告なく変更される場合があります。予めご了承ください。MB632.1-1305.JP、2013年5月